

1969(昭和44)年11月創刊

2024(令和6)年 5月 29日(水) 14373号



株式会社 日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL: 06-6353-7831
 FAX: 06-6353-7832
 MAIL: metal_info_osaka@nikkankinzoku.co.jp
 WEB: https://home.nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月79,200円 外電配信料 12か月 92,400円
 6か月39,600円 6か月 46,200円



鉛建値は3,000円引き下げ
41万7,000円

5月の月内建値平均は41万3,000円

三菱マテリアルは28日、電気鉛建値を3,000円引き下げの41万7,000円にすると発表、同日より実施した。5月の月内建値平均は41万3,000円。

25日に入電した直近のLME鉛相場前場売値は2,248.50ドル。28日の東京市場の米ドルTTSレートは157.94円。

この値で換算した採算価格は、35万5,100円。建値と採算価格から見た諸掛りは6万1,900円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り。(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)

2023年

12月… 378(1) 363(7) 357(15) 平均363.3

2024年

1月… 354(4) 363(11) 366(18) 384(26) 平均366.5

2月… 387(1) 381(8) 378(16) 381(22) 平均381.9

3月… 375(1) 378(8) 369(25) 平均676.8
 4月… 363(1) 378(5) 387(12) 396(19) 平均382.7
 5月… 408(1) 411(15) 420(22) 417(28) 平均413.0



鉛滓・鉛管板屑

株式会社 國樹商店

〒556-0011 本社 大阪市浪速区難波中1-16-8
 電話 06-6649-0045 代表

〒556-0011 工場 大阪市浪速区稲荷1-11-5
 電話 06-6561-7331~2

23年需要 前年比2.5%の微増

国内ネオジム・ジジムは8.5%増
新金属協会・希土類部会

一般社団法人新金属協会(諏訪邊武史会長)の希土類部会(部会長:松岡晃ソルベイ・スペシャルケム・ジャパン株式会社代表取締役)はこのほど、2023年の希土類製品の需要実績を集計し公表した。磁石用、電池用、自動車触媒用等で増加した一方、蛍光剤用、研磨材用で減少するなど、用途や元素ごとに状況は異なったが、合計では16,434トンと、22年に比べ2.5%の微増となった。概要は次の通り。

1. 磁石

23年のネオジムの供給量は中国国内外ともに増加した。半導体の供給改善で世界的に自動車販売台数が増加。中国は経済が低迷しているものの、23年新車生産台数が過去最高の3,000万台を超え、前年比11.6%増となった。日本国内の需要も増加し、23年ネオジム・ジジムの国内需要は同8.5%増の5,229トンとなった。

2. 蛍光体

23年の蛍光ランプ国内出荷個数は同約14%減。LEDランプへの代替が進み蛍光ランプ市場は縮小傾向が続いている。環境配慮気運の高まりや電力コストの上昇も代替を加速させている。

23年の薄型テレビ国内出荷台数は、同約10%減。ステイホーム需要の収束、物価高騰が影響しているものとみられる。個人がスマホ等で動画を視聴するスタイルの普及もあり10~30代層に「テレビ離れ」も見られる。PCやタブレット端末などのテレワーク特需も収束。LEDの波長変換にはレアアース系蛍光体も用いられるが、使用量は極めて少ない。また有機ELなどレアアースを用いない新たな発光材料も浸透。この分野のレアアース需要は減少した。(次頁へつづく)

銅・非鉄原料は

ホームページはこちら▶
www.kimura-metal.co.jp



大阪市大正区

Kimura 木村金属株式会社
06-6552-7840

日本のレアアース需要推移

(単位:トン)

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
① イットリウム	580	1,500	1,300	800	680	720	770	820	900	1,010	1,080	1,160	1,600	1,450	1,300
② ユロビウム	18	35	30	20	17	16	14	13	12	11	10	9	9	8	7
③ ランタン	2,450	3,850	3,200	2,000	2,000	1,980	2,240	1,980	2,090	1,960	1,670	1,370	1,610	1,400	1,200
④ セリウム	9,300	11,500	7,200	5,200	4,200	5,100	5,000	5,800	6,450	6,350	6,750	6,500	6,500	4,950	4,950
⑤ ミッシュメタル	3,200	3,200	2,950	3,350	3,350	3,350	3,250	3,500	3,350	3,700	4,300	3,550	3,550	2,800	3,100
⑥ サマリウム	70	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80
⑦ ジジム+ネオジム	4,200	5,500	5,500	2,500	2,300	2,400	3,500	4,000	4,400	4,900	4,650	4,200	4,550	4,820	5,229
⑧ その他の希土類	700	1,000	820	520	570	609	558	613	830	539	565	532	523	531	568
合 計	20,518	26,665	21,080	14,470	13,197	14,255	15,412	16,806	18,112	18,550	19,105	17,401	18,422	16,039	16,434
前年比	-36.0%	30.0%	-20.9%	-31.4%	-8.8%	8.0%	8.1%	9.0%	7.8%	2.4%	3.0%	-8.9%	5.9%	-12.9%	2.5%

3. セラミックコンデンサ

23年1～12月のセラミックコンデンサの国内生産は同約10%減の10,038億個。エレクトロニクス市場はPC、タブレット端末やデータセンター向け需要の低迷が継続した。カーエレクトロニクス向けは自動車の生産が緩やかに回復し、EV化による使用部品数も増加したことで需要は堅調に推移した。

中国の内需低迷に伴い市場全体は低調だったが、年後半からは半導体向けやエレクトロニクス市場も回復に向かっているとみられる。しかし、セラミックコンデンサでは脱レアアース化が浸透しており、小型化、生産者の現地生産なども重なりレアアースの使用量は低位安定で大きな変化はない。

4. 排ガス触媒

23年の世界の自動車生産は、コロナ感染や半導体不足の影響から回復し台数は同10%近く増加、国内の自動車生産台数は同15%増と好調に推移した。

23年1-12月の自動車排気ガス浄化用触媒の生産量は9,847 tと22年1-12月の9,418 tから5%増、販売量は22年から2%増、販売金額は25%減となった。生産量、販売量は前年を上回ったが、自動車生産台数の伸

びと比較すると上昇幅は低い。これは中国向けの輸出が低調であったためとみられる。販売金額の減少は、触媒成分である貴金属価格の下落により販売単価が低下した影響による。

5. 研磨材

液晶用ガラス基板、ハードディスク用ガラス基板などに使用されるセリウム系研磨材の23年1～12月の需要は、総じて低調に推移したとみられる。テレビやノートPC、タブレットなどに使用される液晶用ガラス基板向けは、欧米をはじめとするインフレの継続や不透明な国際情勢などにより個人消費の伸びを欠き、多くのメーカーは調整局面で推移したと推定される。

またハードディスク用ガラス基板向けも、世界経済の不透明感を背景にデータセンターなどの計画の後ろ倒しにより低調な状況が続いたとみられる。

日刊金属LINE公式アカウントでは建値情報などを随時お知らせします。右のQRコードをスキャンしてください。



2024年3月期決算

純利益 23年度並みの91億円

神鋼商事

神鋼商事株式会社(森地高文社長)はこのほど、2024年3月期連結決算を発表した。国内自動車生産の増加による緩やかな回復などから、売上高は5,914億31百万円(前年比1.1%増)、経常利益は128億14百万円(同1.1%増)、純利益は91億11百万円(同0.9%減)となった。

鉄鋼セグメントの主力特殊鋼・鋼板製品は、建築分野で需要が減少したが、国内自動車生産台数の増加により緩やかに回復。また鋼材価格の上昇などにより増収増益となった。売上高は2,578億39百万円(同8.1%増)、セグメント利益は66億34百万円(同29.1%増)。

非鉄金属セグメントで、銅製品は車載用コネクタ向け銅板条、非鉄原料はアルミ屑・銅屑の取扱量が微増。

アルミ製品は海外で自動車関連取扱量が大幅減となり、売上高は1,718億47百万円(同11.6%減)、セグメント利益は16億35百万円(同38.9%減)となった。

鉄鋼原料セグメントの神戸製鋼所向け主原料は、同社粗鋼生産の減産に伴い取扱量が減少し、原料価格も下落。一方、商事の重点分野バイオマス燃料は取扱量が堅調に推移し、売上高は726億26百万円(同12.5%増)、セグメント利益は15億14百万円(同1.1%増)となった。

鋼・非鉄金属地金全般

株式会社 オカモト

代表取締役 岡本宜三

大阪府堺市美原区黒山 696

☎ 072-361-2264 fax 072-361-2265

2024年3月期決算

純損失464億円

ラスプ鉱山閉山決定など影響

東邦亜鉛

東邦亜鉛株式会社(伊藤正人社長)はこのほど、2024年3月期の連結決算を発表した。亜鉛の相場安や、亜鉛、銀製品の減販もあり、売上高は1,308億3百万円と前期比149億60百万円(10%)の減収。加えて、ラスプ鉱山閉山決定の影響による損失218億円などの計上があり、営業損益は6億9000万円の赤字(前期は40億4900万円の黒字)、経常損益は106億9000万円の赤字(同31億3700万円の黒字)。純損失が464億15百万円と膨れ、前期比472億10百万円の大幅減益となった。

主力の亜鉛は、自動車や家電業界向け亜鉛めっき鋼板の需要伸び悩みを受けて減販。鉛も一部自動車メーカーの品質問題による生産台数減と、東邦契島製錬の生産減により減販となった。

損益面では、製錬事業の亜鉛が相場安によるフリーメタル収入減など、鉛、銀も生産減やリサイクル原料の調達価格高などから、前期比9億円の減益。環境・リサイクル事業は、亜鉛の相場安などもあり同9億円の減益となった。資源事業では、豪ラスプ鉱山の粗鉱品位の低下などもあり同26億円の減益、また本格操業を始めた豪アブラ鉱山は不安定な操業による赤字計上などもあり、同115億円の減益となった。

営業損失は6億90百万円と同47億39百万円減、経常損失は106億90百万円と同138億27百万円の減益。また、24年のラスプ鉱山閉山を決定した影響で減損損失218億円を、また中国関係会社の売却による関連損失40億円も計上したことなどから、当期純損失は464億15百万円と、同472億10百万円の大幅な減益となった。

製錬事業の亜鉛は自動車減産などから前期比減販となったほか、相場下落の影響が大きく売上高は21%の減収。鉛も自動車減産などから減販となったが、円安の影響で国内販売価格が上昇したこともあり、売上高は7%の増収。銀は円安による国内販売価格の上昇もあったが減販の影響が大きく、売上高は10%減となった。

2024年3月期決算

純利益 前期比4.4%増

日本精鉱

日本精鉱株式会社(植田憲高社長)はこのほど、2024年3月期の連結決算を発表した。家電分野向けの回復遅れなどがあったが粉末事業の販売を伸ばし、売上高は前年度比334百万円減(2.1%減)の15,589百万円、経常利益は同85百万円減(10.8%減)の706百万円、純利益は同20百万円増(4.3%増)の502百万円となった。

アンチモン事業の販売は、自動車分野で緩やかに回復する一方、家電分野などは回復が遅れた。また、製造業全般の生産部品などは顧客の在庫調整が続いており、販売数量は前年度比15.8%減の4,527トン。同事業の売上高は同15.0%減の8,274百万円、セグメント利益は62.7%減の291百万円となった。

金属粉末事業の電子部品向け金属粉末の販売では、在庫調整が収束し、数量は同3.1%増の848トン。粉末冶金向け金属粉末では、自動車分野の生産回復から在庫調整が収束し、全体では同0.4%増の2,121トンに。同事業の売上高は、比較的販売単価の高い金属粉末製品の販売が伸びたため同18.3%増の7,282百万円、セグメント利益は、受注回復による操業度上昇などから同348百万円増益(前年度は11百万円の損失)の337百万円となった。

2024年3月期決算

純利益 前年比32%減の66億円

日鉄鉱業

日鉄鉱業株式会社(森川玲一社長)はこのほど、2024年3月期の連結決算を発表した。資源、機械・環境事業等の増収により、売上高は1,668億8千4百万円(前期比1.7%増)。一方、金属部門等の減益などから経常利益は120億5千6百万円(同8.7%減)と減少し、純利益は、株式売却益の減少に加え税金費用の増加もあり66億2百万円(同32.5%減)と大幅に減少した。

資源事業の金属部門では、電気銅の国内販売価格が高水準で推移して販売数量も増加し、売上高は883億1千8百万円と前期に比べ1.6%増。一方、アタカマ銅鉱山の生産コスト増などにより、営業利益は29億9千1百万円と前期比54.8%減少した。

鉱石部門は、主力石灰石の販売価格上昇などにより、売上高は606億9千万円と前期に比べ2.1%増加し、営業利益は59億7千4百万円と前期比0.1%増加した。

鑄物用銅合金地金

特殊銅合金各種製造
砲金くず・ラジエーターくず等



角丁原料全般買受け

京和ブロンズ株式会社

京都府久世郡久御山町佐山新開地314
電話 0774-43-6700(代表)

モビリティDX戦略を策定 経済産業省・国土交通省

経済産業省と国土交通省はこのほど、次世代自動車ソフトウェア・ディファインド・ビークル (SDV) をはじめとする自動車分野のDX国際競争を勝ち抜くため、昨年から官民で検討してきた「モビリティDX戦略」を策定し、公表した。

自動車を取り巻くデジタル技術の進展に伴い、自動車産業のバリューチェーンや産業構造に大きな変化がもたらされ、自動車を巡る競争はグローバルなゲームチェンジが起こりつつある。

SDVは、クラウドとの通信により、自動車の機能を継続的にアップデートすることで、運転機能の高度化など従来車にない新たな価値が実現可能な次世代車。自動車DXは電動化と並ぶ競争軸となり、SDVの実装

Nikkan Kinzoku Web Journal



https://nikkankinzoku.co.jp/

PW : NWJ2458796

ログインにはパスワードが必要です。
パスワードは、随時更新いたします。

も進展するとみられている。両省はこうしたのなか「モビリティDX検討会」を発足し、2030～35年に向けた日本の勝ち筋として「モビリティDX戦略」を策定した。

戦略では、特に激しい競争が生じて官民連携による取組を進めるべき協調領域として、「SDV領域」「モビリティサービス（自動運転等）領域」「データ利活用領域」の3領域を特定、各領域での勝ち筋、“オールジャパンの打ち手”を具体化した。

主な取組は、「SDV領域」では高性能半導体等の研究開発、開発効率化のためのシミュレーション環境の構築など協調領域の拡大など。「モビリティサービス領域」では自動運転トラックの実証支援、ロボットタクシーの開発支援など。

「データ利活用領域」ではウラノエコシステムの運用、自動車全体の排出量把握や物流効率化などへのユースケース拡張など。

また、「モビリティDXプラットフォーム」の立ち上げも提示。自動車産業のほか、スタートアップ、異業種、大学、研究機関、個人などの様々なプレイヤーが参画し、取組の機運醸成を図りつつ、新たな企業間連携の促進、ソフトウェア人材確保のためのコンペティション、新規取組の検討を進める「コミュニティ」づくりを挙げている。

官民で目指すべき中長期目標の設定とその実現に向けたロードマップでは、SDVのグローバル販売台数における「日系シェア3割」の実現を「2030年及び2035年」としている。

減摩合金・各種ハンダ 鉛滓・錫滓の精錬

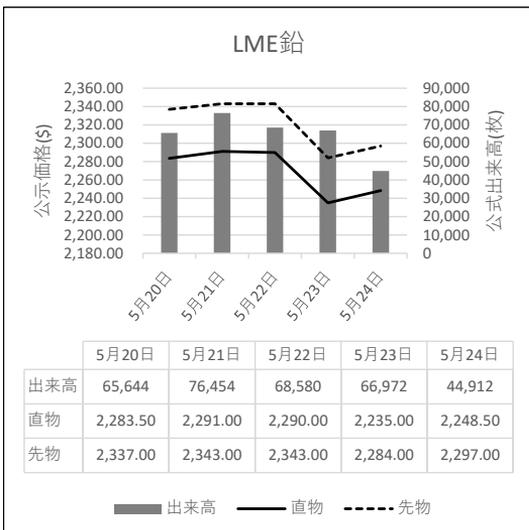
中川金属精錬所

代表者 中川 譲 治

〒556-0022 大阪市浪速区桜川 1-6-22

TEL 06-6561-3759(代表)

LME公式値週間推移 5月20日～5月24日(現地)



※5月24日の出来高は速報値です。

故銅市況

28日朝入電の海外相場は、現地27日が英国、米国ともにバンクホリデーに当たるため、LME（ロンドン金属取引所）、COMEX（ニューヨーク商品取引所）ともに休場。

SHFE(上海期貨交易所)の銅相場7月限は、前営業日の8万3,860円より40元安の8万3,820元。

28日の東京為替市場TTSレートは、前日の157.87円より0.07円の円安ドル高、1ドル=157.00円。

25日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は1万256.50ドル。

この値と28日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日より横ばいの165万7,000円。

この日、電気銅建値は166万円に据え置かれた。

故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円)

(5月23日更新)

直納問屋筋によるロット物(5トン前後)の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が1382~1387、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは1347~1352、並銅は1312~1322、込銅(高品位=約97%)は1302、セパは956~961。コーペルは要り用筋で897、それ以外は882ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋907、それ以外877~887どころの値頃。並青銅鋳物削粉は1148~1153どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が1362~1382、上銅新くずが1327~1347、普通上銅が1302~1322、2号銅線が1294~1314、並銅が1292~1312、込銅(94-97%)が1240、込銅(90-93%)が1242、下銅が825~875、セパが921~956、コーペルが837~882、黄銅棒地が832~877、黄銅削粉が827~872、黄銅ラジが792~800、交叉ラジが774~831、黄銅鋳物が715~722、送りが521~540、上青銅鋳物が1145~1165、並青銅鋳物が1125~1140、上青銅鋳物削粉が1140~1160、並青銅鋳物削粉が1115~1135どころ。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

関東地区 (5月後半)

2S=253円~274円、63S=238円~289円、アルミホイール(1P)=255円~269円、ビス付サッシ=166円~175円、エンジンコロ=164円~176円、込合金(機械鋳物)=167円~175円、缶プレス(ソフト)=161円~173円。

関西地区 (5月後半)

2S=277円~279円、63S=170円~304円、印刷版=165円~267円、アルミホイール(1P)=160円~301円、ベースメタル=150円~231円、機械鋳物=165円~169円、ダライ粉=187円~190円、ビス付サッシ=170円~195円、缶プレス=178円~183円。

為替動向

28日早朝の東京外国為替市場で円相場は横ばい圏の推移。8時30分、前日17時と比べ0.01円の円安ドル高、1ドル=156.91円~156.93円だった。日米の金利差は依然大きく円売りドル買いが出易い状況だが27日は英米の市場が休場で材料に乏しく相場は方向感を欠いていた。

円は対ユーロでは下落。8時30分、前日17時と比べ0.15円の円安ユーロ高、1ユーロ=170.40円~170.44円で推移した。ECB理事会メンバーのフランス中銀総裁が「6月、7月の両会合で利下げの可能性を排除すべきでない」との認識を示したと伝えられ、EU主要国で株価指数が上昇。対ユーロで円が売られた。

円は対英ポンドでも下落。8時30分、前日17時比べ0.50の円安ポンド高、1ポンド=200.38円~200.43円で推移した。英中銀の早期利下げ観測が後退し円売りポンド買いが優勢になった。

アルミニウム屑・銅・真鍮・ステンレス
各種非鉄金属屑

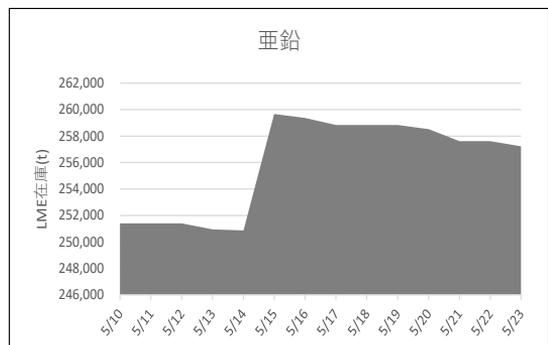
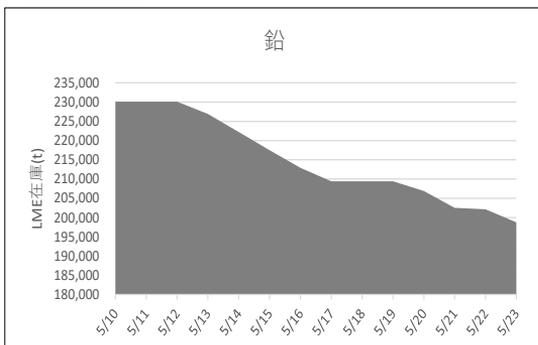
株式会社 原田商店

代表取締役 原田靖章

〒547-0002 大阪市平野区加美東6-14-30

TEL 06-6793-8128 FAX 06-6793-8128

LME認定倉庫在庫量推移 5月10日~5月23日(現地)



海外非鉄金属相場

(5月28日 入電・現地 5月27日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: 前場買値, 前場売値, 終値, 出来高. Rows include: 銅AG, 錫HG, 鉛, 亜鉛SHG, アルミHG, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル.

Table for NY Comex market with columns: 銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム. Includes 5月限 to 9月限 and 前日比, 出来高.

Table for Free Market (フリー・マーケット) and US Producer Prices (米国生産者価格(地金)).

Table for NY Market (NY相場) showing copper and tin prices.

Table for London Market (ロンドン相場(ドル)) listing various metals like gold, antimony, bismuth, etc.

Table for KLT Market (KLT M 錫 (MYR/KG、出来高トン)) comparing prices for 27th and 28th.

Table for LME Inventory (LME在庫(トン)) showing stock levels for copper, tin, lead, etc.

Table for Shanghai Inventory (上海在庫(トン)) showing stock levels for copper, aluminum, etc.

Table for LME Pre-market (LMEプレマーケット(ドル)) showing prices for various metals.

Table for Shanghai Market (上海相場) showing prices for copper, aluminum, lead, and nickel.

Table for Settlement Prices (採算価格) comparing LME and COMEX prices for various metals.

非鉄金属製品相場

(5月28日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪		東京		鉛亜鉛製品	大阪		東京		電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)		
銅小板2.0ミリ	1990	1895	垂鉛板0.3×3×7	650	650	V V F						
建築用0.3ミリ	2040	1945	印刷用垂鉛板トッパン用	750	750				2C×1.6	69~71		
銅大板2×1×2	2120	2095	給水管13ミリ	280	280				2C×2.0	121~124		
銅管(ベース)	2050	2095	鉛板1.5ミリ	620	620				3C×1.6	127~130		
水道用管(m当たり)13ミリ	1960	2005	鉛線3ミリ	445	445				3C×2.0	175~178		
銅棒25ミリ	1900	1865	軽圧品		大阪	東京	I V					
銅条1.5×100	1955	1910	アルミ箔0.007ミリ	1160	1175				1.6mm	39.7~42.2		
銅線0.9ミリ	1980	1925	〃 小板1ミリ	795	805				5.5sq	110~116		
銅帯6×50	1860	1865	〃 大板1ミリ	775	795				14sq	273~291		
銅平角線	2180	2095	〃 5052板	835	845			CV-T				
黄銅小板2.0ミリ	1580	1505	〃 6061板	1360	1375				600V 3C×38	2098~2230		
〃 0.3ミリ	1610	1535	〃 2017板	1290	1405				600V 3C×60	3249~3454		
黄銅大板2×1×2	1730	1685	〃 線3ミリ	775	790				600V 3C×100	5445~5788		
黄銅管	2060	2075	〃 快削棒50ミリ	995	1010				6kV 3C×38	3268~3462		
復水器用黄銅管	2030	2045	〃 合金棒50ミリ(17S)	980	990				6kV 3C×60	4632~4906		
黄銅棒快削25ミリ	1355	1380	〃 合金棒50ミリ(56S)	935	950			CVV			(関西-関東)	
六角棒	1385	1410	貴金属(一般小口向け)						3C×2	153-157		
四角棒	1415	1440	白金(グラム)		◎ 5949				4C×2	205-210		
鍛造用	1395	1420	パラジウム(グラム)		◎ 5797				6C×2	295-302		
ネーバル	1495	1520	金(グラム)		◎ 13107				7C×2	338-346		
高力	1495	1520	銀(キログラム)		◎ 178750			合金鉄			3月輸入単価 (CIF)	
黄銅線6ミリ	1765	1685	レアメタル輸入価格			3月通関 (CIF)			フェロマンガ2%以上炭素含有	137		
黄銅平角線ロール仕上	1965	1895	金属ケイ素(99.99%未満)		374			〃 その他	201.6			
黄銅条1.5×100	1575	1520	モリブデン酸化物		4860			フェロシリコン55%以上	222			
リン青銅板一般用1.0ミリ	3360	3550	タンタル		81502			フェロクロム4%以上炭素含有	232			
〃 パネ用0.3ミリ	3600	3800	マグネシウム		432			フェロモリブデン純分60%以上	4594			
リン青銅棒25ミリ	3440	3650	コバルト		4895			フェロバナジウム	3133			
リン青銅線3ミリ	3890	4100	インジウム		31962			フェロニッケル33%未満	508.6			
洋白板一般用1.0ミリ	4000	4150	減摩合金			5月16日改定			電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326		
〃 パネ用1.0ミリ	4140	4310	銅合金地金		5月7日発表							
(500kg以上、大口価格)			(標準価格)		大阪							
1種	6070		BC 1種	1470								
2種	5895		2種	1860								
3種	5705		3種	1960								
4種	5060		6種	1635								
5種	4765		7種	1740								
7種	1770		YBSC 3種	1285								
8種	1550		LBC 3種	1870								
9種	1345		PBC 2種	1990								



https://home.nikkankinzoku.co.jp/

非鉄金属材料相場

キロ当たり円		◎上げ ◆下げ		(5月28日調べ)		インジウム 大口~小口(99.99%)		43,000 ~ 50,000(1)	
非鉄原料 (炉前材)		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場		
1トン以上外税持込						高値	安値	高値	安値
1 号 銅 線	1452	1453	電 気 銅	◎ 1646	◎ 1641	◎ 1648	◎ 1643	電 気 銅	1660(23)
2 号 銅 線	1410	—	電 気 亜 鉛	491	485	491	485	電 気 鉛	417(28)
上 銅 (新 切)	1423	1416	蒸 留 亜 鉛	479	473	479	473	電 気 亜 鉛	532(23)
雑 ナ ゲ ッ ト	1272	1271	再 生 再 生 亜 鉛 2 種	419	413	419	413	錫(99.99%)	6,850(20)
並 銅	1365	1348	再 生 亜 鉛 (98%)	374	368	374	368	金	11,885(28)
下 銅	1346	1321	電 気 鉛	◆ 392	◆ 389	◆ 392	◆ 389	銀	162,010(28)
銅 削 粉	1326	1321	再 生 鉛 1 号	◆ 377	◆ 367	◆ 366	◆ 361		
銅 さ い (30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	◆ 381	◆ 377	◆ 371	◆ 367		
新 切 黄 銅 セ バ	1099	1110	錫 1 号	5500	5450	5500	5450		
コ ー ベ ル	1063	1066	ア ン チ モ ン	2100	2050	2100	2050		
黄 銅 棒 地	1041	1054	ニ ッ ケ ル (メ ッ キ 用)	3450	3400	3450	3400		
黄 銅 削 粉	1035	1049	コ バ ル ト	5500	5200	5500	5200		
並 黄 銅	975	940	セ レ ニ ウ ム	4100	3900	4100	3900		
黄 銅 ラ ジ エ タ ー	899	883	ピ ス マ ス	1600	1500	1600	1500		
交 叉 ラ ジ エ タ ー	923	891	カ ド ミ ウ ム	800	750	800	750		
黄 銅 鋳 物	980	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	470	450	470	450		
山 送 り (55%)	575	—	ア ル ミ 地 金 99.70 %	461	457	463	459		
上 青 銅 鋳 物	1176	—	ア ル ミ 二 次 地 金 99 %	345	340	345	340		
並 青 銅 鋳 物	1174	1164	〃 90 %	335	330	335	330		
上 青 銅 鋳 物 削 粉	1169	—	ア ル ミ 二 次 合 金 ADC12	446	441	449	444		
並 青 銅 鋳 物 削 粉	1159	1148	鋳 物 用 C2BS	461	456	463	458		
新 切 リ ン 青 銅 (伸 銅)	—	1461	青 銅 合 金 地 金 3 種	1855	1845	1975	1965		
〃 (鋳 物)	1290	—	〃 6 種	1585	1575	1675	1665		
リ ン 青 銅 削 粉	1208	1202	ハ ン ダ 錫 60 %	3765	3725	3785	3755		
新 切 洋 白 (電 子 材)	1220	1209	〃 50 %	3260	3210	3280	3250		
新 切 亜 鉛	276	276	〃 40 %	2820	2760	2775	2745		
ダ イ カ ス ト く ず	193	193	減 摩 合 金 2 種	5360	5330	5365	5335		
亜 鉛 ド ロ ス	173	183	〃 4 種	4600	4575	4605	4575		
上 鉛	220	218	〃 7 種	1590	1540	1590	1540		
電 池 素 鉛 ケ ー ス 込	80	80	ス テ ン レ ス ・ 特 金	18-8 ス テ ン レ ス 新 切		85	90		
活 字 鉛	200	197		〃 ダ ラ イ 粉		70	75		
新 切 ア ル ミ 1 級	300	308		高 耐 食 ス テ ン レ ス SUS316		270	270		
新 切 サ ッ シ 1 級	310	306		耐 熱 ス テ ン レ ス SUS310		370	370		
新 切 合 金 1 級	296	291		13 ク ロ ー ム 新 切		35	32		
機 械 鋳 物 1 級	241	254		ハ イ ス 9 種		180	180		
ピ ス 付 サ ッ シ P	257	260							
合 金 削 粉 P	198	194							
込 ガ ラ P	161	165							
カ ン ・ バ ラ	224	218							

